

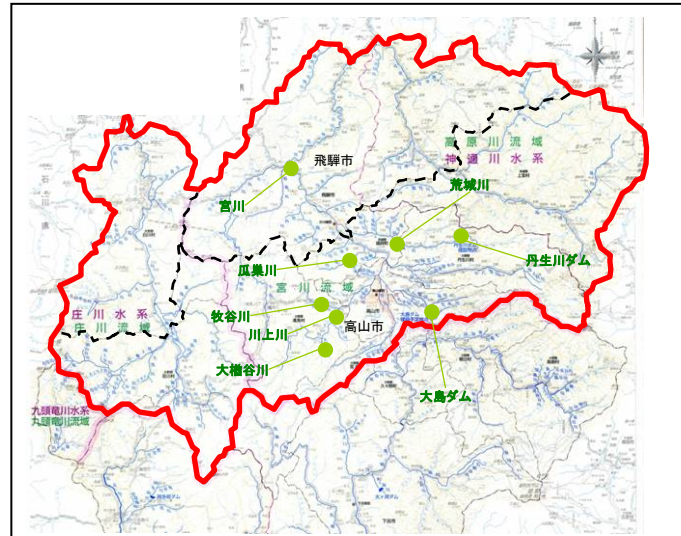
# 5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

## 5) 宮川・庄川圏域

### 5)－1. 河川水害対策

宮川流域では、宮川、川上川、牧谷川、瓜巣川、大櫓谷川で平成16年の災害対応として実施中の災害復旧助成事業を平成20年度までに完成するほか、苔川で河川改修を進めます。また荒城川で丹生川ダムの建設を進め、大八賀川では、大島ダムの建設にむけた調査を進めます。

庄川流域では、河川の適切な維持管理を実施します。



(1級河川の主な事業を記載)

| 事業主体 | 河川名      | 市町村名    | 事業内容      |
|------|----------|---------|-----------|
| 県    | 苔川       | 高山市     | 護岸工       |
|      | 荒城川      | 飛騨市     | 護岸工       |
|      | 宮川(助成)   | 飛騨市・高山市 | 掘削護岸工     |
|      | 瓜巣川(助成)  | 高山市     | 掘削護岸工     |
|      | 川上川(助成)  | 高山市     | 掘削護岸工     |
|      | 牧谷川(助成)  | 高山市     | 掘削護岸工     |
|      | 大櫓谷川(助成) | 高山市     | 掘削護岸工     |
|      | 丹生川ダム    | 高山市     | ダム本体工     |
|      | 大島ダム     | 高山市     | 調査(環境調査等) |

### 5)－2. 土砂災害対策

高原川の上流域では重荒廃地域を抱えるほか、焼岳の火山噴出物の堆積など土砂災害の発生しやすい状況となっています。また、奥飛騨温泉郷として全国でも有数の観光地となっています。このため、土砂流出による土砂災害や河床上昇に起因した土砂氾濫から高原郷とその観光資源の保全及び富山平野を保全するため、国事業を推進しています。

また、県事業では平成11年の「9. 15災害」や平成16年の「台風23号による災害」の経験から、透過型砂防堰堤の整備など流木災害対策を進めるほか、ソフト対策の充実による減災対策とハード対策の一体的な整備を掲げ、「避難所関連対策」や「災害時要援護者対策」などの重点的な整備を推進します。

総合流域防災事業では、飛騨市の「保木林地区」で雪崩対策事業を実施します。